

令和3年度 全国学力・学習状況調査の結果

令和3年5月27日に6年生（104名）を対象として実施した調査の結果をお知らせします。

【国語】

全体的に全国平均を下回る結果となりました。知識及び技能面では6.4ポイント、思考、判断、表現面では4.6ポイント下回りました。

その中で自分の主張が明確に伝わるように、文章全体の構成や展開を考える思考力は、わずかですが1.5ポイント上回っていました。一昨年同様（昨年度は臨時休校中のため実施されず）「漢字を書く」において3問中1問が大きく下回っていたので、今後も反復練習にて習得の定着化を図っていきたいと思います。

また、文の中における主語と述語との関係を捉える言語力が低く、全国平均を大きく下回っていました。3.4年次に学んだ主語と述語の関係、修飾と被修飾との関係について忘れていた児童が多かったと考えられます。

今後は、6年での学習を進める中で、プリントやワークシートなどで振り返り、基礎基本の定着を図っていきたいと思います。

【算数】

全体的に全国平均を若干下回る数値となりました。知識及び技能面では、0.7ポイント、思考、判断、表現面では、1.9ポイント下回りました。

知識・技能面の中では、場面から数量の関係を捉えて除法の式に表して計算することができており、全国平均を6ポイント上回っていました。

また、思考、判断、表現面では、集団の特徴を捉えるためにどのようなデータを集めるべきか判断することができ、除法の結果について、日常生活の場面に即して判断することもできていました。後半の判断力は、全国平均を4.5ポイント上回っていました。以上の3点は、全国平均を上回っていた神奈川県平均よりも高い数値でした。

その反面、小数を用いた倍についての説明を解釈し、ほかの数値の場合に適用して、基準値を1としたときに比較量が示された小数に当たる理由を記述する力が低く、全国平均を15ポイントも下回っていました。理解したことを式で表し、それを解く計算力は身につけていますが、論理的に文で説明し、答えを導き出す思考力が低いように思えます。

一つの解き方のみ理解して答えを求めるだけでなく、答えを導き出す方法は、一つだけでなく様々な解き方を理解し、その過程を思考することを指導していきたいと思います。